

戊辰戦争から150年。



白虎隊奮戦の図 個人蔵

平成30年度 秋の企画展

# 戊辰戦争150年

平成30年9月1日(土) - 10月14日(日)

会期中に一部展示替を行います。前期～9月24日(月) 後期9月26日(水)～

- [休館日] 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
- [開館時間] 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- [観覧料] 一般・大学生 800(640)円 \* ( )は20名以上の団体  
高校生以下無料
- [主催] 福島県立博物館・新潟県立歴史博物館・仙台市博物館
- [協力] 日本通運株式会社

◆当館学芸員による展示解説会 (いずれも 13:30～14:30)

9月 8日(土)・15日(土)・22日(土)・23日(日)・24日(月)

10月 6日(土)・13日(土)

\*要観覧料もしくは年間パスポート

## ◆記念講演会

\*いずれも申込不要、無料、先着200名、当館講堂

### 戊辰内乱と「官軍」の創造

日時:9月16日(日)13:30～15:00

講師:宮間純一氏 (中央大学文学部准教授)

### 仙台藩と奥羽越列藩同盟

日時:9月29日(土)13:30～15:00

講師:水野沙織氏 (仙台市博物館学芸員)

### 北越戊辰戦争と会津藩

日時:10月14日(日)13:30～15:00

講師:田邊幹氏 (新潟県立歴史博物館主任研究員)

## 福島県立博物館



<http://www.general-museum.fks.ed.jp/>

〒965-0807 福島県会津若松市城東町 1-25

TEL0242-28-6000 / Fax0242-28-5986

E-mail general-museum@fcs.ed.jp

Twitter <https://twitter.com/fukushimamuseum>

## 先人たちは、何を選択し、 のこしたのか—



白虎隊自刃の図 個人蔵

# 戊辰戦争150年



**会津藩旗** 個人蔵  
\*北越戊辰戦争で使用

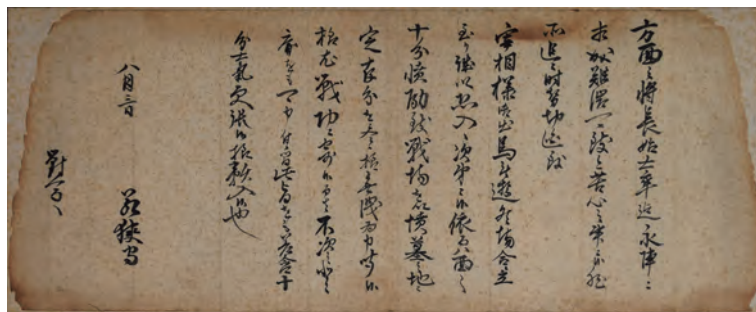
この展覧会は、決して華やかではありません。出品資料の多さにかかわらず「色味」の少ない、モノトーンの展示の中で、皆さんの目をひくのはおそらく錦旗のコーナーでしょう。錦旗が「官軍」の象徴として示された時、当時の人々はどのような思いを抱いたのか、実際に会場で確かめていただきたいと思います。

京都守護職となった会津藩主・松平容保は、諸藩の思惑が渦巻く幕末の京都で公武間の調整につとめ、孝明天皇から信頼を得ました。しかし天皇崩御の後、一転して錦旗を掲げられ、「朝敵」とされました。会津藩は謝罪・嘆願を働きかけますが、新政府側は受け容れませんでした。これにより、東北や越後の諸藩を広範囲に巻き込み、戊辰戦争の戦渦は拡大していきます。

この展覧会は、めざした会津救済・戦争回避の道が実現せず、同盟を組んで戦うことを余儀なくされた東北・越後の視点から、戊辰戦争を紹介します。当時の人々の記録や関連資料を丹念に集め、150年前に何が起きていたのかを考える機会としました。新潟県立歴史博物館・仙台市博物館との共同企画により実現した本展。それぞれに豊富な地域資料を交えながら三館を巡回します。



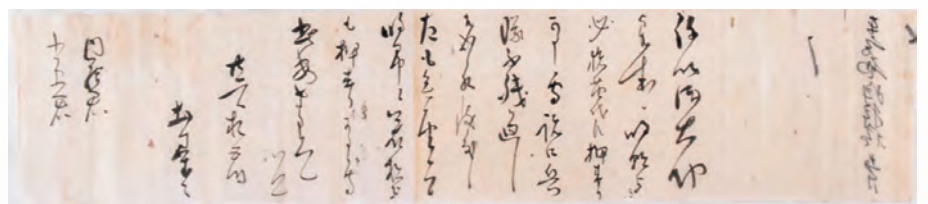
**松平喜徳写真** 個人蔵／福島県立博物館寄託  
\*容保の跡を継いだ13歳の少年藩主



**松平喜徳書状** 個人蔵／福島県立博物館寄託  
\*戦争の最中に書かれた、少年藩主の自筆書状



**錦旗(蜀江錦日像金)**  
東京国立博物館蔵  
\*日と月でセットになる錦旗  
Image:TNM Image Archives



**土方歳三書状** 個人蔵／福島県立博物館寄託  
\*危急を伝える、臨場感あふれる筆致が特徴

**戦争後の旧会津藩資料** 個人蔵／福島県立博物館寄託  
\*会津開城から斗南移住までの空隙を埋める貴重な資料

## 戊辰戦争を経験した源ちゃんが 展覧会をナビゲート!

会津藩士の視点で戊辰戦争を追体験できます。

\*源ちゃん: 会津藩士・渋谷源蔵。戊辰戦争時30歳。  
砲兵隊として越後方面を転戦。



©kobama



## 福島県立博物館

■アクセス <http://www.general-museum.fks.ed.jp/>  
会津若松駅から約3km タクシーで約10分  
会津若松駅から  
まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)  
まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸口下車すぐ)

### 共同企画展覧会「戊辰戦争150年」会期情報

新潟県立歴史博物館／平成30年7月14日(土)～8月26日(日)  
仙台市博物館／平成30年10月26日(金)～12月9日(日)